

平成22年度 ヘルスプロモーション・整復学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

五十嵐 純、武田 大輔、相澤 慎太、牛島詳力、尾原 弘恭、高岸 美和、林 俊彦、井口 理、山原 正美

B. 研究活動の概要

平成22年4月1日から共同研究推進委員会のもとで、ヘルスプロモーション・整復学ユニットとして活動を開始。

ヘルスプロモーションの分野は多岐にわたるが、本ユニットでは、運動や動きが体に及ぼす様々な生理的变化・効果についての研究と柔道整復についての研究（下記）を行っていく予定である。

柔道整復は、業として古来より日本にある施術体系の一つである。業としての柔道整復は現状伝統的手法で骨折・脱臼・打撲・軟部組織等の処置を行ってきている。また源が柔道（柔術）を起源とするので運動器の損傷や動きについての理解があるものである。しかし、未だ研究機関も少なく、施術論理の解明は多くあるとは言えない。そこで、本分野では、これら伝統的に行われてきている施術について基礎的・臨床的・教育的な面での研究と運動器についての研究の構築を行いつつある。

（研究内容について）

1. 加圧時の筋運動が皮膚表面温度変化に与える影響についてサーモグラフィー・赤外線式皮膚温度計を用いた検討を21年度に引き続き行う。
2. テーピングが筋運動後の筋硬度に及ぼす影響について実験継続中である。

C. 研究業績

1. 著書・原著

Takagishi M, Waki H, Bhuiyan MER, Gouraud S, Kohsaka A, Cui H, et al: IL-6 microinjected into the nucleus tractus solitarii attenuates cardiac baroreceptor reflex function in rats. *Am J Physiol*, 2010, 298 (1), R 183-90

Taniguchi W, Nakatsuka T, Miyazaki N, Yamada H, Takeda D, Fujita T, Kumamoto E, Yoshida M: In vivo patch-clamp analysis of dopaminergic anti-

nociceptive actions on substantia gelatinosa neurons in the spinal cord. *Pain*, 2010, 152 (1), 95-105

2. 学術講演・学会発表

高岸美和, 和気秀文, ブイア・エリウス, グホ・サビン, 崔 鶴, 向阪 彰ら: 心臓圧反射調節における延髄孤束核内 IL-6 の役割, 第87回日本生理学会大会, 岩手, 2010. 5

グホ・サビン, 和気秀文, ブイア・エリウス, 高岸美和, 向阪 彰, ペートン・ジュリアンら: 延髄孤束核におけるケモカイン CCL5 (RANTES) の遺伝子発現低下は SHR の高血圧発症に関与する, 第87回日本生理学会大会, 岩手, 2010. 5

ブイア・エリウス, 和気秀文, グホ・サビン, 高岸美和, 向阪 彰, 前田正信: 延髄孤束核ヒスタミンの血圧調節に関わる役割, 第87回日本生理学会大会, 岩手, 2010. 5

和気秀文, ブイア・エリウス, グホ・サビン, 高岸美和, 向阪 彰, ペートン・ジュリアンら: 延髄背内側部の血流阻害は高血圧を惹起する, 第87回日本生理学会大会, 岩手, 2010. 5

Sabine S Gouraud, 和気秀文, Mohammad ER Bhuiyan, 高岸美和, He Cui, 向阪 彰ら: SHR 孤束核におけるケモカイン Cc 15 活性の低下は高血圧発症に関与する, *Nuero* 2010 第33回日本神経科学大会・第53回日本神経化学学会大会・第20回日本神経回路学会大会, 神戸, 2010. 9

和気秀文, Mohammad ER Bhuiyan, Sabine S Gouraud, 高岸美和, 向阪 彰, Julion FR Patonら: ラット孤束核の血流阻害は高血圧を惹起する, *Nuero* 2010 第33回日本神経科学大会・第53回日本神経化学学会大会・第20回日本神経回路学会大会, 神戸, 2010. 9

前田正信, 向阪 彰, Mohammad ER. Bhuiyan, 和気秀文, Sabine Gouraud, 高岸美和ら: 時計出力分子 Prokineticin 2 の血圧日内リズム調節における役割, 第60回日本自律神経学会, 横浜, 2010.10

和気秀文, Sabine Gouraud, Mohammad ER Bhuiyan, 高岸美和, 向阪 彰, 前田正信: 延髄背内側部の低血流は動脈圧を上昇させる, 第103回近畿生理学談話会, 大阪, 2010.10

Sabine Gouraud, 和気秀文, Mohammad ER Bhuiyan, 高岸美和, 向阪 彰, 前田正信: 高血圧症の運動療法が延髄孤束核遺伝子発現に及ぼす影響, 第103回近畿生理学談話会, 大阪, 2010.10

Mohammad ER Bhuiyan, Hidefumi Waki, Sabine Gouraud, Miwa Takagishi, Akira Kohsaka, Masanobu Maeda: Histamine in the nucleus tractus solitaries regulates cardiovascular function in rats, 第103回近畿生理学談話会, 大阪, 2010.10

高岸美和, 和気秀文, ブイア・モハマド, グホ・サビン, 向阪 彰, 前田正信: 延髄孤束核内ヒスタミン受容体H1は動脈圧を調節する, 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 2011. 3

和気秀文, グホ・サビン, ブイア・モハマド, 高岸美和, 向阪 彰, 前田正信: 運動習慣が延髄孤束核遺伝子発現に及ぼす影響—運動による高血圧症改善効果の中枢性機序解明を目指して—, 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 2011. 3

グホ・サビン, 和気秀文, ブイア・モハマド, 高岸美和, 向阪 彰, 前田正信: 延髄孤束核の低酸素は血圧を上昇させる, 第88回日本生理学会大会 第116回日本解剖学会総会・全国学術集会 合同大会, 横浜, 2011. 3

3. その他

相澤慎太, 辻 和哉: 「効果的なトレーニング方法」, 大阪府教育センター 平成22年度「体力づくり」指導力向上研修, 大阪, 2010. 8

牛島詳力: Cervical Spine Injury in Baseball, カリフォルニア州立大学フラトン校, 運動・健康科学部 アスレティックトレーニング学科 Dr. Robert Kersey 教授ゼミ 講演, USA, 2010. 3

牛島詳力: スポーツリハビリテーション, NPO法人JATAC主催スポーツ科学講習会, 大阪, 2010. 6

牛島詳力: スポーツ活動時の救急活動と応急処置, NPO法人JATAC主催スポーツ科学講習会, 大阪, 2010. 6

牛島詳力: 様々な立場でのトレーナー, 第59回全日本鍼灸学会学術大会, 大阪, 2010. 6